



佐賀大学総合分析実験センターは教育研究支援を目的として設立された全学共同利用施設で、生物資源開発部門、機器分析部門、放射性同位元素利用部門、環境安全部門の4部門からなり、本庄・鍋島キャンパスに各部門が設置されています。当センターでは、次のテーマに対する教育・研究支援をミッションに、学内だけでなく、学外への貢献のために活動しています。



1. 高性能分析装置を用いた機器分析に関する教育・研究ならびに支援
2. 遺伝子組換え実験に関する教育・研究ならびに支援
3. 動物福祉に基づいた動物実験に関する教育・研究ならびに支援
4. 放射線および放射性同位元素利用に関する教育・研究ならびに支援
5. 環境分析および作業環境の維持管理に関する教育・研究ならびに支援

## 設置機器

超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置 (NMR)	陰圧一方向式飼育ラック、クリーン飼育ラック、およびバイオセーフティ飼育ラック
電子スピン共鳴装置 (ESR)	マイクロインジェクション装置
X線構造解析装置 (結晶・粉末)	バイオハザードルーム
電子顕微鏡 (透過型・走査型)	放射線管理区域 (放射線実験室)
共焦点レーザー顕微鏡	放射線照射装置 (Cs-137ガンマ線照射装置、エックス線照射装置)
質量分析装置 (GC-MS, LC-MS/MS)	遺伝子組換え植物温室
DNA シークエンサー	

